

播磨幼稚園

協同的な遊びを通して
生きる力の基礎をはぐくむ
「コミュニケーション力の育ち」



田尻美恵子 園長

幼児は、様々な人とかかわりながら、大きく育って
いきます。本園では、あたたかい人間関係を基盤に、
豊かな心情、意欲、態度など生きる力の基礎をはぐく
む教育をすすめています。
本園の教育目標
「生きる力の基礎をはぐくむ」
―幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で―
本年度の重点的な取り組みについて
協同的な遊びを通して、互いの存在を認め合い、共
にやり遂げた喜びが感じられるような環境づくりや援
助に努めます。また、昨年度に引き続き、言葉を中心
としたコミュニケーション力につながる取り組みをし
ていきたいと思っています。

努力目標
○安心して自分の思いが出せる雰囲気づくりをする。
○楽しさを共有できる場や、協同的な遊びの場を工夫
する
○生活の中で必要な言葉があることに気付いたり、
言葉の使い方について考えた
りできるような援助する
○気付いたことや感じたこと
を伝え合ったり認め合ったり
する場を大切に
○一人ひとりの人間関係や言
葉の発達過程を理解し、個々
に合った援助に努める
○家庭や地域との連携を深め
る
<http://www.town.harima.lg.jp>



蓮池幼稚園

家庭との連携を基に
基本的な生活習慣の
確立を目指して



藤田麗子 園長

食食べる―寝る―遊ぶは、幼児の体と心の成長に
とって最も重要なことです。「早起きをして朝ごはん
を食べる」「登園する」「挨拶をする」「体を動かして
遊ぶ」「決まった時間に寝る」の規則正しい生活リス
ムを身に付けることで、情緒が安定していきます。
本年度は、園でできること、家庭でできることの様々
な生活体験を通して、双方の「発信」「返信」をしな
がら、保護者と共に発達段階に合った基本的な生活習慣
が身に付くよう保育を進めていきます。
そして、生涯教育の基礎となる「生きる力」の育成
に努めていきます。

教育目標
「生きる力」の基礎をはぐくむ
―幼稚園・家庭・地域社
会での生活が相互に循環する
中で―
目指す幼児像 二歳児から五歳児まで
生き生きと活動する子ども
努力目標
○幼児一人ひとりの発達を促した教育の推進に努める
○基本的な生活習慣の確立と健康な体や心の育成に努め
る
○幼稚園・家庭・地域との連携を密にし、幼稚園の役
割の充実を図る
○幼児期にふさわしい道徳性の基礎を培う
○幼稚園教育から小学校教育への円滑な接続を図る
○教育の専門家として自覚と豊かな人間性をもち、指
導力の向上につとめる
○学校評価を教育の充実や園運営に生かしていく



播磨西幼稚園

育ち合う豊かな暮らし元気なからだ
幼稚園と家庭との連続した
生活のなかで育つこと育つこと



小西真由美 園長

食食べることは、発育発達には欠かせない栄養素を摂
取るだけでなく、意欲や好奇心など内面の育ちや生
活習慣のマナーなどを身につけていく大切なことであ
る。また、幼児期の食との出会いや人とかかわりが
幼児の食に対する感性を育て生涯の食習慣に大きく影
響するものと考えます。
そこで、今年度は、幼児の主体
的な食育活動への取り組みや箸の
扱い方について家庭や地域と連携
をとりながら、全教職員が一丸と
なって実践に取り組む心豊かで元
気な体の子どもへの育成に努めてま
いりたいと考えています。

教育目標 生き生きとかがやいている子ども
目指す幼児像
○自分の思いや考えを心豊かに表現する子ども
○健やかで、たくましく、けじめのある子ども
本年度の努力目標
①活気にあふれ魅力ある園づくりに努める
②豊かな心を育む教育の充実を図る
③発達に即した豊かな人権感覚を育てる
④特別支援教育の充実を図る
⑤基本的な生活習慣の確立と食育、健康教育の充実に
努める
⑥幼稚園・家庭・地域との連携を密にし開かれた園づ
くりを努める
⑦豊かな人間性あふれる魅力ある教師を目指す
⑧幼稚園教育から小学校教育への円滑な移行にむけた
幼小連携を進める



未来の播磨町『過ごしやすいまちへ』



▲町長と懇談をしました

きれいなまちになったらいいなあ
と思います。残念なことに、まだ
まだ「ゴミが川や公園に落ちていた
り、タバコのポイ捨てがあったり
します。公園のトイレやまちの中
の壁に落書きがあったりして不快
に思うこともあります。

私たちが中学生も、まちをきれい
にするために行動することはでき
ると思います。クリーン活動に参
加したり、トライやるウィークな
どの機会に落書きをペンキで塗り
つぶして、総合体育館の前の壁の
ように明るい絵を描いたりできる
のではないかと考えました。

事件や事故がないのも、良いと
ころと思いましたが、広報に毎月
の犯罪や交通事故件数が載ってい
ることを教えてもらいました。凶
悪な犯罪がなくても、たくさん
の事件や事故が起こっていて、交通
事故で亡くなっている人もいるこ
とを知りました。

ほかに、良くないと感じている
ことは、街灯がなくて暗い道があ
るといことです。酔っ払って話
しかけてくる知らない人や、暗い
場所ですらうろついている人などが
いるところを通るとき、とても嫌
です。もっと、明るい場

所が増えれば、安心できるのにと
思います。

また、道路標識を無視している
車をよく見かけるので、気になり
ます。道路にある白い「止まれ」
の文字をもっと目立つ色に変えて
はどうだろうかと思っています。白い
文字や線が消えかかっているから
あまり意識しないで道路標識を無
視するのかもしれない。だから、
オレンジ色や蛍光色にすれば、もっ
と気をつけて止まってくれるので
はないかと思っています。

ほかに、大きな本屋や結婚式
場があればいいのになあという意
見や、せつかく大中遺跡や考古博
物館があるので、古代のことを学
ぶ大学が学校があれば皆さんの
人が播磨町にやってきて、周りに
もお店が増えて活気づくのではな
いかと考えました。

店などは、町が作ろうと思っ
てるものではないそうです。で
も、播磨町で店を開こうと思っ
たらえるような「魅力のあるまち」
を作っていくことが大切だと知り
ました。そのために町では、道路
を整備してまちづくりを進めてい
くそうです。
私たちが自分できいていこうとやっ
て、将来の播磨町がもっと過ごし
やすい、いいまちになるようにし
たいと思いました。

STOP!! 飛び出し ～みんなで播磨町を安全なまちへ～

私たちは、東播自動車教習所
へ行ってきました。その時、交
通安全教室が行われていました。
生徒は園児たちと一緒に横断歩
道を渡ったりしていました。あ
と、飛び出し君という人形を使っ
て車にはねられたときにどうな
るのかも見ました。すごい音が
鳴って飛び出し君は何か飛は
されていきました。

生徒たちは、とても残酷で飛
び出してはいけないなと思った
そうです。幼稚園の子と活動し
てみてどうですか？と聞くと、
自分の小さいときを思い出した
と答えてくれました。
担当の方や指導員の方に生徒
の様子を聞くと、目を見て挨拶
のできる子たちです。トライヤ
るを受け入れているのは、安全
についてもっと理解を深めて日
常生活に生かしてほしいからと
話しておられました。



交通安全教室
「飛び出し君」人形

役場で活動する中学生が、他の事業所で活動する中学生取材しました。

トライやる・ウィーク 2009

播磨南中学校 亀山仁美、菊地香織、恵美芙有子

私たちは、企画グループでのト
ライやるウィークの活動の中で、
未来の播磨町について考えました。
はじめに、まちの良いところと良
くないところを出来るだけたくざ
ん書き出すことから始めました。
小さなまちなのに、保育園、幼
稚園、小学校、中学校、高校まで
が揃っていて教育施設が充実して
いると感じます。
他にも、高齢者施設もあること
なども良いこととして書き出しま
した。夏まつりなどの行事がたく
さんあることもいいなあと感じま
した。
喜瀬川の上流がきれいに整備さ
れていた、クリーン活動なども
行われているので、もっともっ

私たちが中学生も、まちをきれい
にするために行動することはでき
ると思います。クリーン活動に参
加したり、トライやるウィークな
どの機会に落書きをペンキで塗り
つぶして、総合体育館の前の壁の
ように明るい絵を描いたりできる
のではないかと考えました。

店などは、町が作ろうと思っ
てるものではないそうです。で
も、播磨町で店を開こうと思っ
たらえるような「魅力のあるまち」
を作っていくことが大切だと知り
ました。そのために町では、道路
を整備してまちづくりを進めてい
くそうです。
私たちが自分できいていこうとやっ
て、将来の播磨町がもっと過ごし
やすい、いいまちになるようにし
たいと思いました。



塵芥処理センター・リサイクルプラザの見学



▲リサイクルプラザで

播磨小学校 4年

4年生では、社会科「ごみのしよ理と利用」の単元で、ごみのゆくえやリサイクルについて学習を進めています。その学習の一環として、塵芥処理センターとリサイクルプラザの見学に行きました。

塵芥処理センターでは、ごみピットの深さやクレーンの大きさに驚いたり、可燃ゴミを処理するのに、年間ばく大な経費がかかることで、ごみに関する様々な問題を考えるきっかけとなりました。

リサイクルプラザでは、実際に家庭で不要になった物が、再び使える状態として再利用されている様子や、分別して資源として生かすべく大切に学びました。



協力するってすばらしい —校外活動in江井ヶ島—



▲自然の家の体育館にて

播磨中学校 1年

1年生は5月17日(日)、楽しみにしていた校外活動でした。活動の後半には、かねてから体育の授業で取り組んできた「集団行動」のコンクールが予定されていて、出発前の練習にも、各クラス気合いが入っていました。

江井ヶ島(明石市立少年自然の家)に着くと雨が降り出しました。予定していた屋外での活動は屋内に変更になったものの、楽しく昼食を食べ、午後からは学年オリリンピックの開催です。堂々たる聖火ランナーの入場や宣誓など、生徒たち手づくりの開会式が行われ、いざ、各クラス一致団結して、綱引き大会、ビンゴ大会に望みました。

みんなで協力し合うことの大切さや、けじめをつけることの大切さを、しっかりと心に留めることのできた校外活動となりました。活動で得た成果は、これからの学校生活大いに生かされてくるに違いありません。

国際交流 IN HARIMA



▲いろいろな国の人たちと話しました

播磨南高等学校

5月10日(日)に国際交流 IN HARIMAが行われました。慣れないこともあり、戸惑うこともありましたが、いろんな国の人々とお話をしたり、ゲームをしたりと、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。

国際交流 IN HARIMAのようにこれから行事を一つ一つしっかりと活動し、播磨町ともども播磨南高校を盛り上げていけるよう生徒会一同頑張っていきたいと思えます。



播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

楽しかった春の遠足



▲元気いっぱい遊びました

蓮池小学校 2年

5月8日(金)、2年生は明石公園へ行きまし。初めて電車で行く遠足でした。お天気が心配でしたが、晴れてよかったです。

すべり台ですべったり、おにごっこをしたり、ボールで遊んだりしました。汗をかきくらしい思いっきり遊ぶことができ満足でした。その後、お弁当とおやつを食べました。とても楽しい一日を過ごすことができました。

みんな、明石公園に行きましたよ。すごく大きな広場でびっくりしたよ。すべり台にトンネルがあって、いっぱい遊んだよ。電車で行くのは初めてだったけど、いろいろな景色が見ることができて楽しかったよ。今日が晴れて本当によかったよ。



みんななかよし



▲おもいっきり体を動かして

蓮池幼稚園

蓮池幼稚園では、年少、年中、年長がグループになり、なかよし家族をつくっています。体操をしたり、一緒にお弁当を食べたりなど、仲よく触れ合って遊んでいます。体操が始まる音楽が聞こえると「一緒にしよう」と

年少、年中児の家族を誘いに行くと、年長児、笑顔で待っている年中、年少児、さっそくなかよし家族が輪になり体操が始まりま

す。さあ、今日も元気いっぱい遊ぼうね。



親子ふれあい運動会



▲パラバルーンの上はふわふわだあ

播磨保育園

今日は親子ふれあい運動会!! 0歳児から5歳児まで、お父さんお母さんと一緒に「みんなでハイハイ」ジグザグおさんぽ」「ゴゴゴ一帖マン」ボールをはこぼろ」などの競技を楽しみました。なかでも5歳児は、大きくふくらんだパラバルーンに登ったり中に入ったりして、とびっきりの笑顔が見られました。紅白対抗の玉入れでは、まわりからの「がんばって!!」の応援で盛り上がり、子どもたち以上にお父さんお母さんがはりきって玉を投げ、まるで童心に返ったかのようでした。

みんなで「産の上のポニョ」の曲に合わせて、踊ったりうれしそうに花のトンネルをくぐりました。最後に抱っこしてもらって大満足の子どもたち。「楽しかったね」

